

英 語

1 構 成 員

	平成 13 年 3 月 31 日現在
教授	1 人
助教授	1 人
助手（うち病院籍）	0 人 (人)
大学院学生（うち他講座から）	0 人 (人)
研究生	0 人
外国人客員研究員	0 人
技官	0 人
その他（技術補佐員等）	0 人
合計	2 人

2 構成員の異動状況

大木 俊夫（教授）（期間中現職）

菱田 治子（助教授）（期間中現職）

3 研究業績

	平成 12 年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	2 編 (0 編)
そのインパクトファクターの合計	0
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	0 編
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0 編 (編)
そのインパクトファクターの合計	0
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0 編 (編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編 (編)
(6) 国際学会発表数	0 編

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Hishida H. (2000) A Survey of English Words in Japanese Advertisements.

Ars Linguistica Vol. 7:90-105

2. Hishida H., Ohki T. (2000) The Realities of the Use of Medical English.

Journal of Medical English Education Vol.1. No.2: 49-53

インパクトファクターの小計 [0]

- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
- D. 筆頭著者、共著者とも浜松医科大学に所属していなかったが、当該教室に所属する者が含まれるもの

(2) 論文形式のプロシーディングズ

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
- D. 筆頭著者、共著者とも浜松医科大学に所属していなかったが、当該教室に所属する者が含まれるもの

(3) 総 説

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
- D. 筆頭著者、共著者とも浜松医科大学に所属していなかったが、当該教室に所属する者が含まれるもの

(4) 著 書

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

- D. 筆頭著者，共著者とも浜松医科大学に所属していなかったが，当該教室に所属する者が含まれるもの

(5) 症例報告

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し，共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し，共著者が当該教室に所属していたもの
- D. 筆頭著者，共著者とも浜松医科大学に所属していなかったが，当該教室に所属する者が含まれるもの

(6) 国際学会発表

4 特許等の出願状況

	平成 12 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

5 医学研究費取得状況

	平成 12 年度	
(1) 文部省科学研究費	1 件	(50 万円)
(2) 厚生省科学研究費	0 件	(万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件	(万円)
(4) 財団助成金	0 件	(万円)
(5) 受託研究または共同研究	0 件	(万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	0 件	(万円)

(1) 文部省科学研究費

菱田治子（代表者） 基礎研究 (C) (2) 「医学英語論文における誤文の分類別データ分析」
50 万円（継続）

6 特定研究などの大型プロジェクトの代表，総括

7 学会活動

	平成 12 年度
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件
(2) 国際・国内シンポジウム発表数	1 件
(3) 学会座長回数	2 件
(4) 学会開催回数	0 件
(5) 学会役員等回数	3 件

(2) 国際・国内シンポジウム発表

菱田治子, 大木俊夫 (2000) 卒業後の医学英語使用の実態, 第 3 回 日本医学英語教育学会
2000 年 7 月 8,9 日, 東京

(3) 座長をした学会名

大木俊夫 第 3 回 日本医学英語教育学会 2000 年 7 月 8,9 日, 東京

菱田治子 第 3 回 日本医学英語教育学会 2000 年 7 月 8,9 日, 東京

(5) 役職についている学会名とその役割

大木俊夫 日本医学英語教育学会 理事

菱田治子 日本医学英語教育学会 理事

菱田治子 大学英語教育学会 WE 研究会 副代表

8 学術雑誌の編集への貢献

	平成 12 年度
学術雑誌編集数	0 件

9 共同研究の実施状況

	平成 12 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	0 件
(3) 学内共同研究	1 件

(3) 学内共同研究

大木俊夫 (英語) 医学英語論文における誤文の分類別データ分析

10 産学共同研究

	平成 12 年度
産学共同研究	0 件

11 受賞 (学会賞等)

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

1. 「医学英語論文における誤聞の分類別データ分析 予測, 予防のメカニズム」
医学論文原稿（英語）から誤文を3年間で収集してデータベースを作成し, 本年度データを分析に誤文, 誤用法に観察される規則性, 関連性を追求し 42 ページから成る論文にまとめた.
2. A Measure of Malpractice (Harvard University Press) の翻訳 (大木俊夫)
平成 12 年度 4 月から訳業を開始, 現在再校正中

13 この期間中の特筆すべき業績, 新技術の開発

14 研究の独創性, 国際性, 継続性, 応用性

15 新聞, 雑誌等による報道